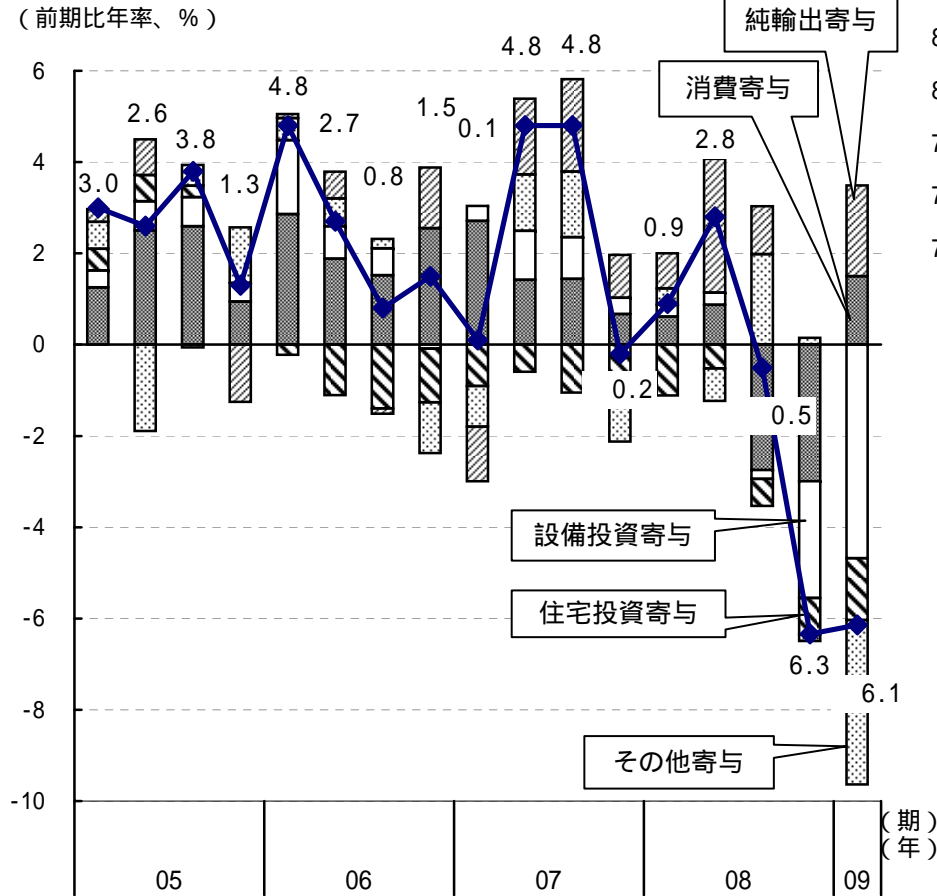


# 1. アメリカ

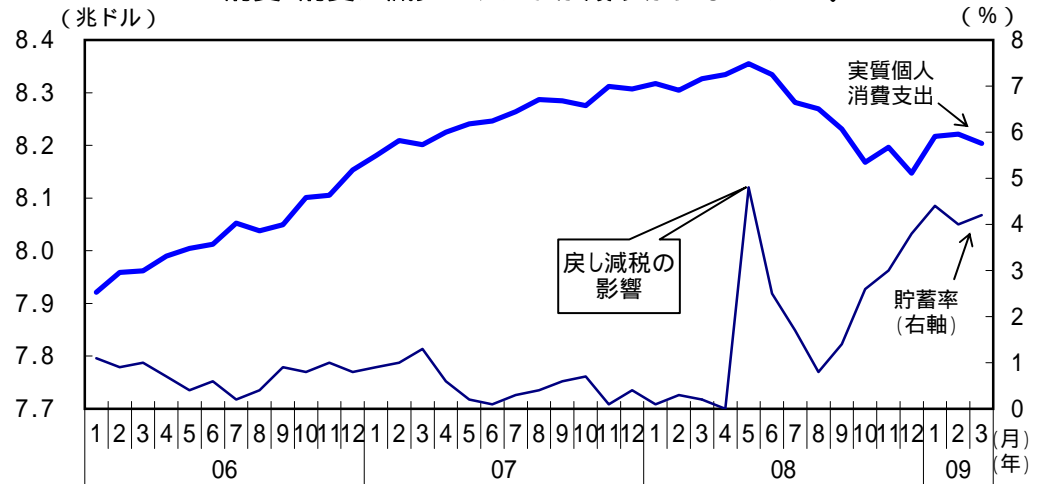
景気は後退しており、金融危機と实体经济悪化の悪循環により、引き続き深刻な状況にあるが、収縮のテンポが緩やかとなる兆しがみられる。先行きについては、悪循環により、景気後退が長期化するリスクが高い。

GDP：2009年1-3月期は前期比年率 6.1%成長



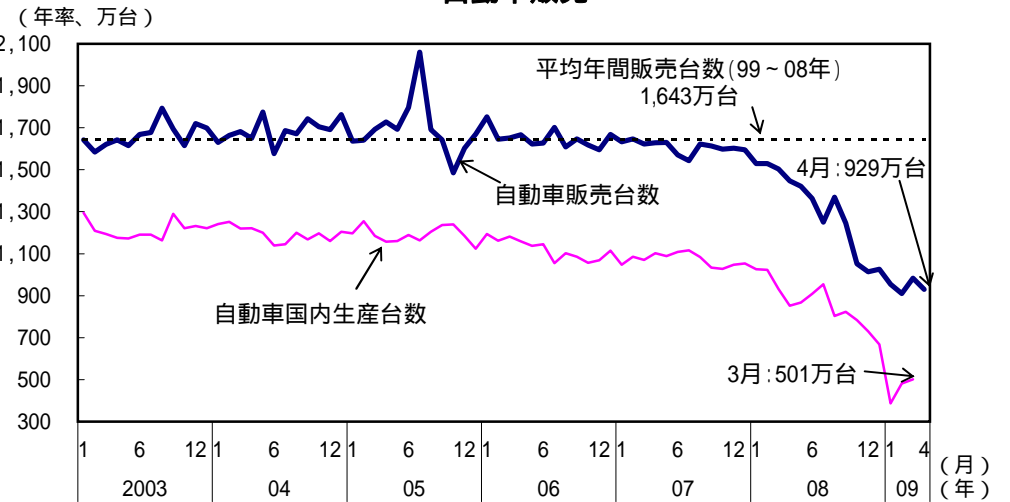
(備考) アメリカ商務省より作成。

消費：消費は減少のテンポが緩やかになっている。



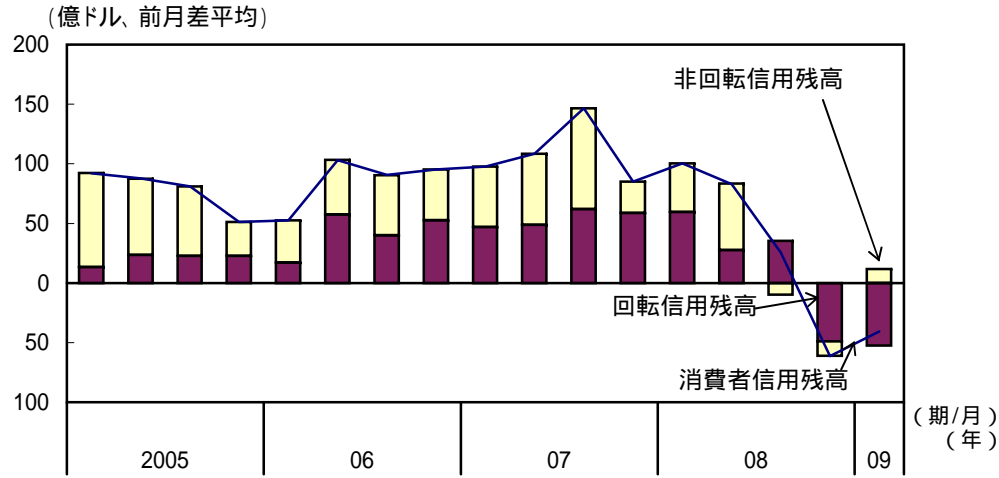
(備考) アメリカ商務省より作成。

## 自動車販売



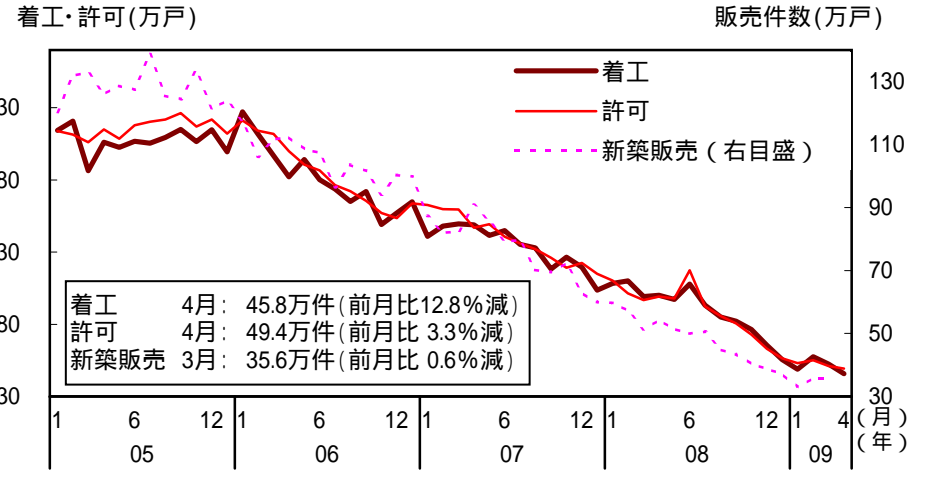
(備考) アメリカ商務省、FRBより作成。

### 消費者信用残高



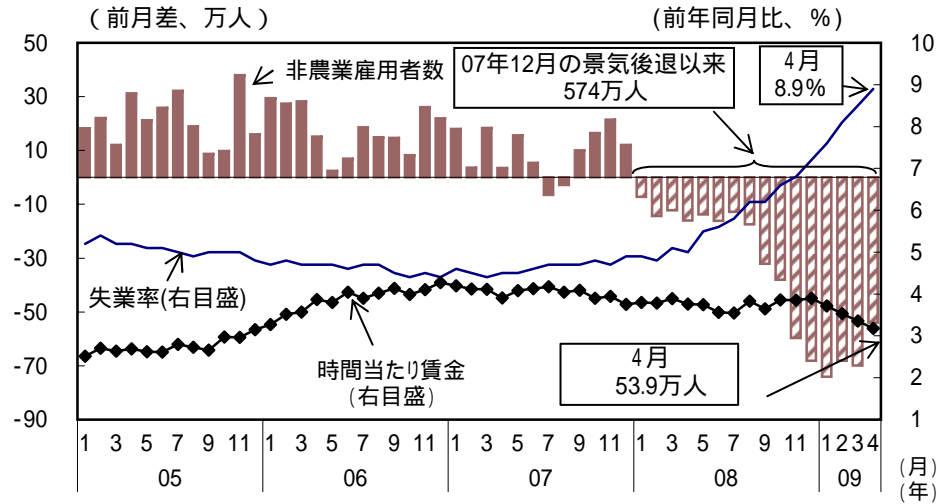
(備考) 1. 連邦準備制度理事会 ( F R B ) より作成。  
2. 四半期データは各月前月差の値の平均。

### 住宅:住宅建設は大幅に減少している。



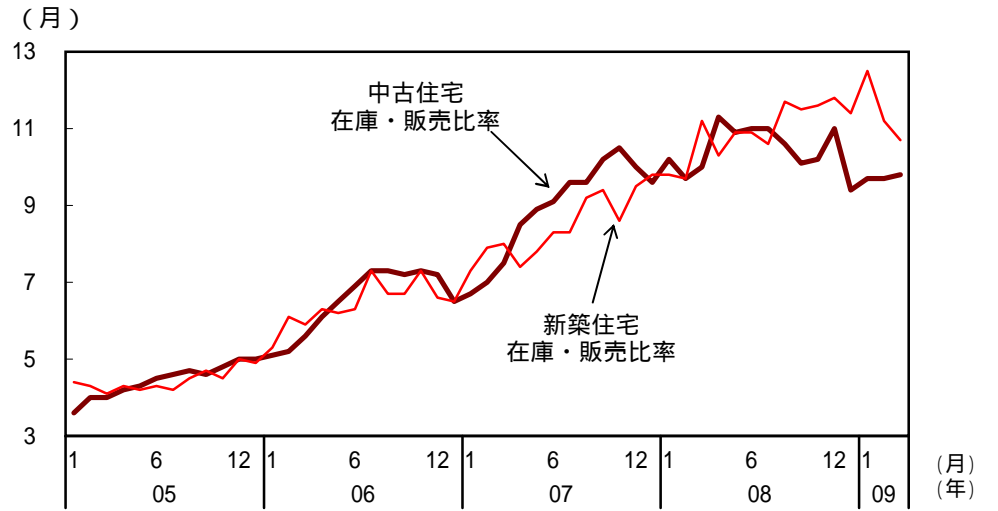
(備考) アメリカ商務省より作成。

### 雇用:雇用者数は大幅に減少しており、失業率は急速に上昇している。



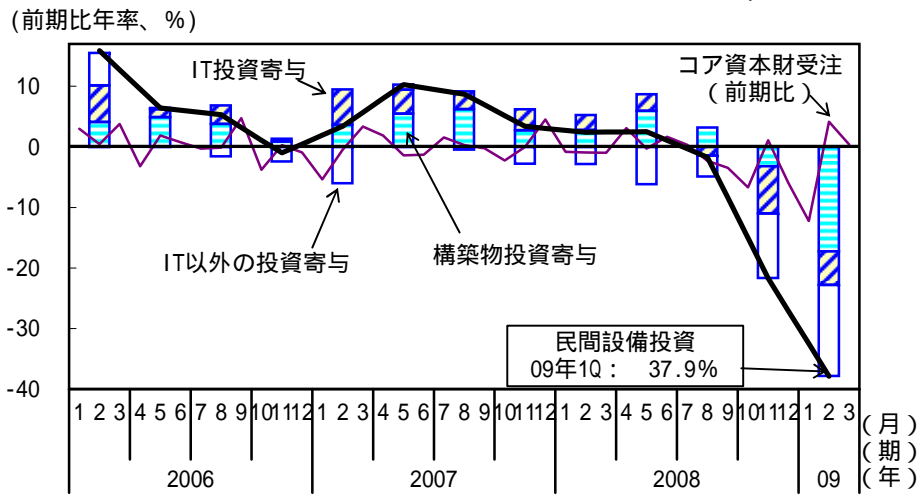
(備考) アメリカ労働省より作成。

### 住宅在庫・販売比率



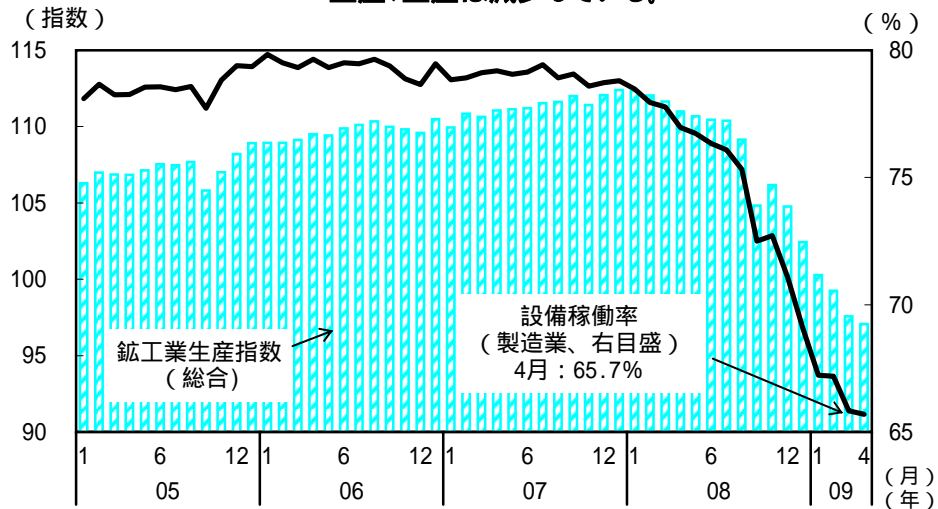
(備考) アメリカ商務省、全米不動産協会より作成。

**設備投資：設備投資は大幅に減少している。**



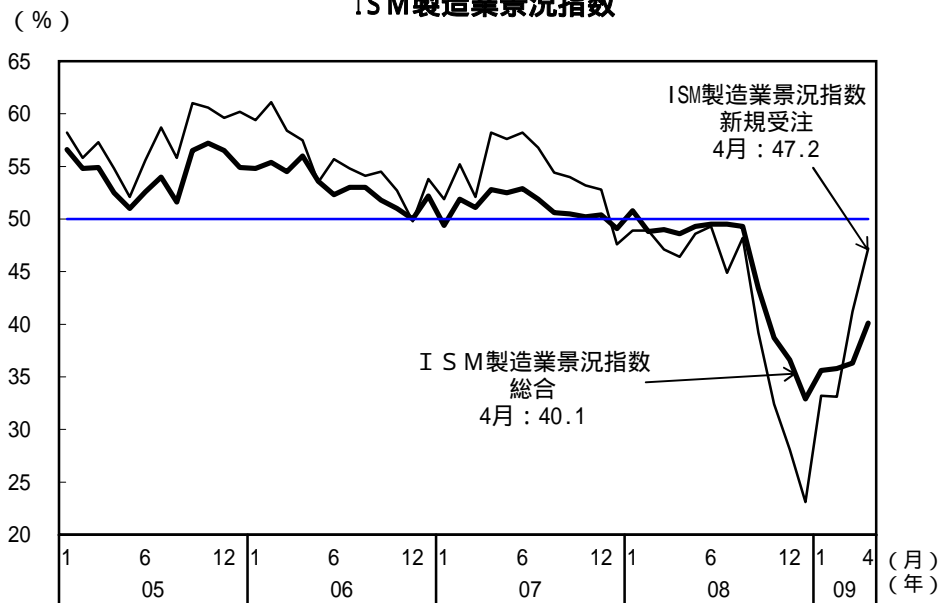
(備考)アメリカ商務省より作成。

**生産：生産は減少している。**



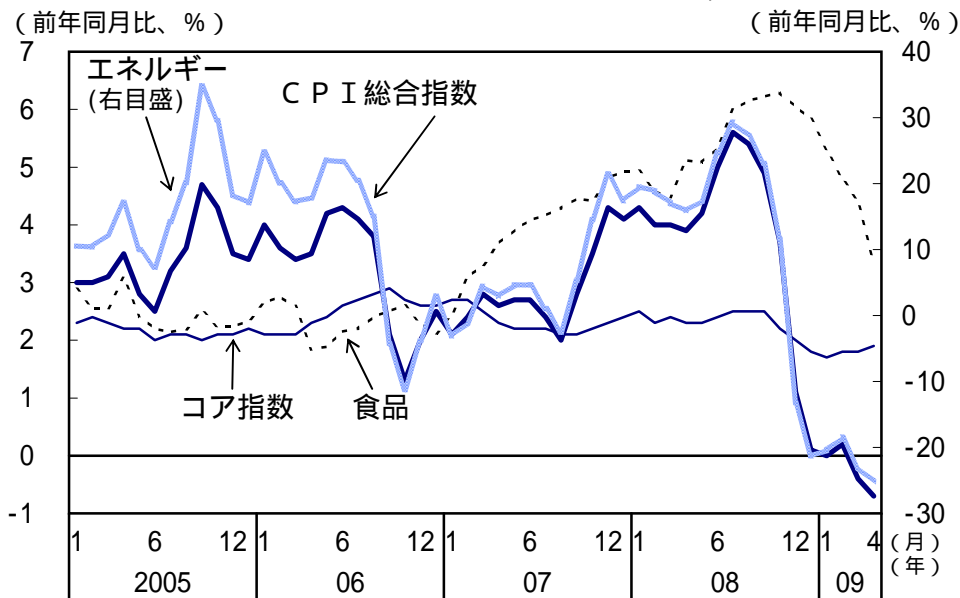
(備考)FRBより作成。

**ISM製造業景況指数**



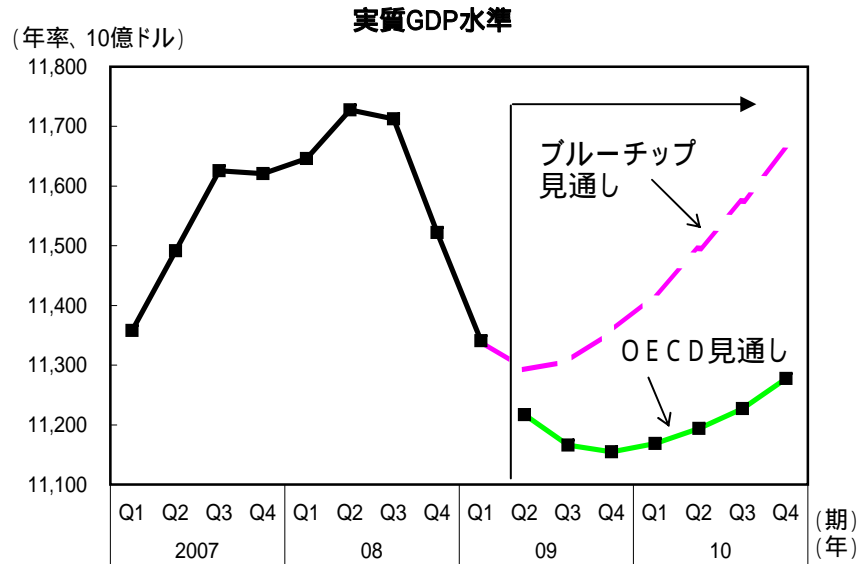
(備考)全米供給管理協会 (ISM) より作成。

**物価：コア物価は落ち着きが見られる。**



(備考)1. アメリカ労働省より作成。  
2. コア指数は、総合指数からエネルギーと食料を除いた指数である。

### 主要国際機関等による見通し



### 実質GDP成長率 (前期比年率、%)

	2009年			10年			
	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
OECD	4.3	1.8	0.4	0.5	0.9	1.2	1.8
ブルーチップ	1.7	0.5	1.8	2.2	2.7	2.8	3.0

### (前年比、%)

	2009年	2010年
OECD	4.0	0.0
IMF	2.8	0.0
ブルーチップ (民間見通し)	上位10社	2.3
	平均	2.8
	下位10社	3.3

(備考) アメリカ商務省、OECD "Economic Outlook Interim Report" (09年3月31日)、ブルーチップ・インディケータ (5月10日号)、IMF "World Economic Outlook" (09年4月22日) より作成。

### FRBによるストレステスト結果の公表(09年5月7日)

#### 各金融機関19行における増資必要額

対象金融機関	増資必要額	(参考) 既公的資本注入額
バンク・オブ・アメリカ	339	450
ウェルズ・ファーゴ	137	250
GMAC	115	50
シティ・グループ	55	450
リージョンズ	25	35
サントラスト・バンク	22	49
キーコップ	18	25
モルガン・スタンレー	18	100
フィフス・サード	11	34
PNCファイナンシャル	6	76
JPMorgan・チェース	0	250
ゴールドマン・サックス	0	100
USバンコップ	0	66
キャピタル・ワン	0	36
アメリカン・エクスプレス	0	34
B B & T	0	31
バンク・オブ・ニューヨーク	0	30
ステート・ストリート	0	20
メットライフ	0	0
合計	746	2,086

(注) 金額の単位は億ドル。既公的資本注入額は優先株等での出資額。

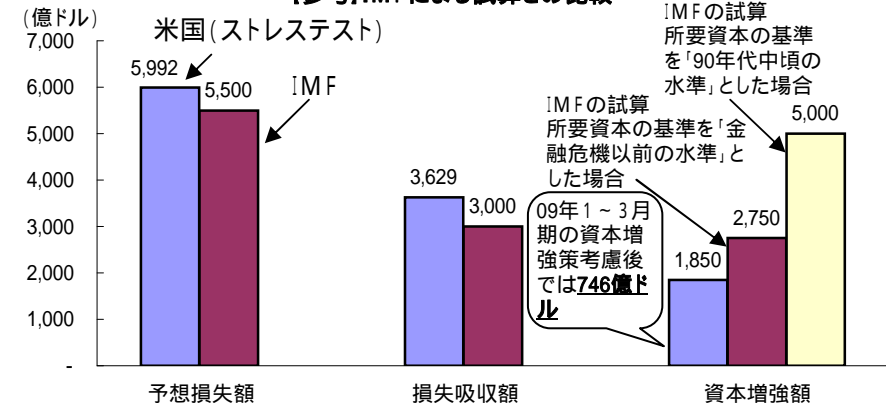
#### <ポイント>

・2009～2010年における予想損失額は、合計5,992億ドル

・10行で増資の必要があり、増資必要額は、合計746億ドル

・増資の必要性を指摘された10行は、09年6月8日までに資本増強計画を明らかにし、同11月9日までに実行しなければならない。

#### 【参考】IMFによる試算との比較



(出所) FRB、IMFは"Global Financial Stability Report" (2009年4月)。

(注1) 各試算額は2008年12月末時点。予想損失額および損失吸収額は今後2年間の累計額。

(注2) 損失吸収額は予想利益額に引当金の变化額を加減した額。